

6 Scultetus の *Armentarium chirurgicum*
(外科の兵器庫) の書誌学的研究

蒲原 宏

ドイツ Ulm 生れの外科医 Scultetus (Johannes Schultes 1595-1645) の著書 *Armentarium chirurgicum* が、我国の初期翻訳外科伝書『紅夷外科宗伝』『金瘡跌撲療治之書』『外科訓蒙図彙』および『紅夷流道具集解総図式』等の原典として、フランスの A. Paré の『外科全集』と同等、乃至はそれ以上に重要であることを度々指摘した。本書の書誌学的な調査結果を報告する。

本書の最初の出版は、彼の死後八年、一六五三年、同姓同名の甥によってウルムにおいてである。この初版本の所在は現在不明。一六五五年、第二版が同じくウルムで出版されたが、現在のところ所蔵を確認できたのは、

ドイツ・ユーバーリンゲン (Überlingen) の Leopold So-phien Bibliothek と スツィガルトの Württembergische

Landesbibliothek 及びオランダのライデン大学中央図書館の三カ所であった。その表題は *Xeipozkλoθn̄n̄, seu D. Joannis Sculteti, physici et chirurgi apud Ulmenses olim felicissimi, Armentarium chirurgicum XL III tabulis aeri elegantissime incisus* となっており、ラテン語版である。ドイツ以外では、オランダでの刊行が最も早い。一六五六年ハーグ、一六五七年ドルドレヒト、一六六二年アムステルダムとハーグ、一六六三年にはライデンでラテン語版が出版されている。

またオランダ語版への翻訳出版も、一六五七年にアムステルダムで *Magazyn of te wapenhuyt* (J. J. Brower 版) としておこなわれている。一六五七年のドルドレヒト版もある。これらは、本書がドイツ語版の *Wund-artzneyisches Zeughaus* として一六六六年にフランクフルトで出版されるよりも八―九年も早い。一六七〇年にもドルトレヒトでオランダ語版の再版がおこなわれている。

英語版の *The chyrurgeons store house* は一六七四年 ロンゾンの J. Starker から出版されている。

フランス語版の *L'arsenal de chirurgie* は一六七四年リヨンで François Deboze の翻訳として出版されている。これは、一六六二年ハーグ版(ラテン語)から翻訳されたようである。

オランダでのラテン語版は一六六九年にも出版されるが、一六七一年にはウトレヒト生れの Johannes Baptista van Lamzweerde (一六三〇—?) によって増補されたオランダ語版が *Het wapen-huys der chirurgie* 及び *Het nieuwe wapen-huys der chirurgie* として同時にアムステルダムで出版される。これを原典としたラテン語版が、一六七二年にアムステルダムで出版される。

この増補版は Johannes Tiling によって編集され、一六九三年にライデンで出版される。さらに、Pt. Hadr. F. Verduin の意見が加えられ、Johannes Christ. de Sproegel によって編集され、一七四一年にアムステルダムで出版される。

これが、ラテン語の最終版となる。これには、Parté の『外科全集』からの器具、処置法を始め、その他の外科書からの引用が附録として図版とともに巻末に増補、追

加されている。

これを原本として、ライデンの外科医 Gerardus Dicien (一六九六一七七〇) によってオランダ語に翻訳され、一七四八年にアムステルダムの Jansson van Waerge から *Het vermeerde wapenhuis der heelmeesters, verzamelt van Joh. Baptista van Lamzweerde. Eeneinge aanmerkingen van wylen den erwarren heelmester Pieter Adriaanze Verduin* として出版されている。

一七四一年ラテン語版、一七四八年のオランダ語版の巻頭扉の手術図は一六六二年ハーグ刊ラテン語版、一七四年リヨン刊フランス語版とは全く異なっている。

日本の『紅夷外科宗伝』『紅夷流道具集解総図式』などの原典となったものは、一六五七年刊のオランダ語翻訳本であり、アムステルダム版か、ドルトレヒト版の何れかであったと推定したい。榎林鎮山に贈られたパレの『外科全集』が一六四九年刊の Schipper 版であったことから、年代が接近している。

(新潟大学)